

S A N E I 製のシングルレバー式
(デッキタイプ)に

シングル分岐 B98-AU3 の取り付け方

代表機種

K87120JV
K87580JV

お問い合わせ

右記の本製品の販売元
にご連絡ください。

販売元

株式会社 三栄水栓製作所

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

大阪 (06)6976-8661 東京 (03)3683-7496

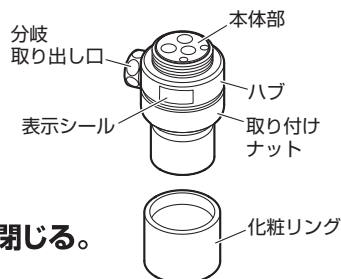
URL <http://www.san-ei-web.co.jp>

給水の場合は手順通りに取り付けを行ってください。
給湯の場合は手などにケガなどをするおそれがありますので、裏面の変換方法をよく
お読みの上、十分注意して組み替え作業を行ってください。

取り付ける前に

- 記載しているイラスト(水栓)は代表機種であり、他の機種と
外観イラスト・分解イラストが異なる場合があります。
- ハブに付いている表示シールをご確認ください。

表示…B98-AU3



1. 水道メーターの止水栓またはバルブを閉じる。

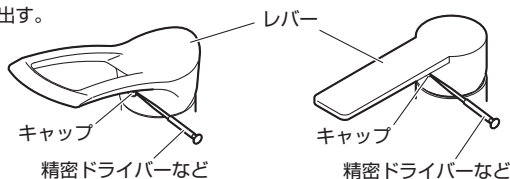
水栓から水が出ないことを確認してから、
下記の要領にしたがって作業を行ってください。

2. レバーを取り外す。

①精密ドライバーなどでキャップを押し出す。

水栓本体に傷が付か
ないように注意くだ
さい。

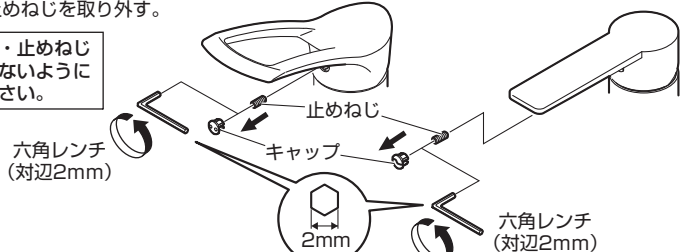
作業時にケガをしな
いように注意くだ
さい。



②キャップが少し出たら、手でキャップをつまんで取り外す。

③六角レンチで止めねじを取り外す。

キャップ・止めねじ
を紛失しないよう
にしてください。

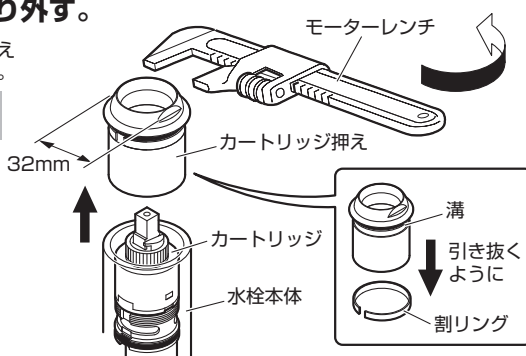


3. カートリッジ押えを取り外す。

①モーターレンチ等で、カートリッジ押え
を時計とは逆の方向に回して取り外す。②カートリッジ押えの溝にはまっている
割リングを引き抜くように取り外す。

カートリッジ押えをゆるめる
時に本体が回る場合がありま
すので、水栓本体を確実に固
定してください。

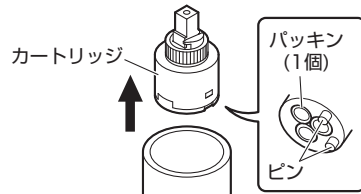
割リングを取り外す際は、割
れないように注意してくだ
さい。



4. カートリッジを取り外す。

カートリッジを手で持ち、上に抜くようにして取り外す。

カートリッジ下部のパッキンが
付いていることを確認してく
ださい。(1個)

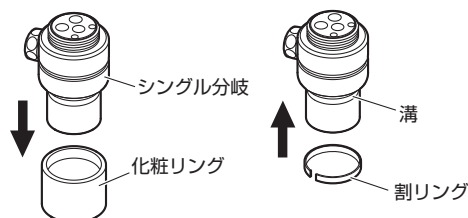


5. シングル分岐を取り付ける。

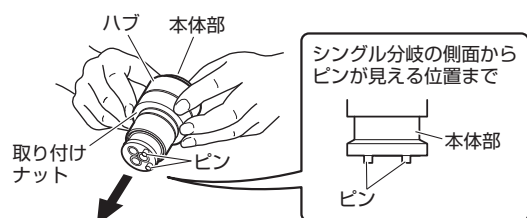
①シングル分岐から化粧リングを取り外し、シングル分岐の溝に、手順3-②で
取り外した割リングを取り付ける。

化粧リングを取り外す際は、
落下しないように注意して
ください。

割リングを取り付ける際は、
こわさないように注意して
ください。

②シングル分岐の外周(ハブ・取り付け
ナット)を手で持ち、シングル分岐の
本体部を上からゆっくりと押し出す。

本体部を上下に動かす場合は、
ゆっくりと動かしてください。
本体部に取り付けられている
パッキンが破損し、水漏れす
るおそれがあります。

③シングル分岐のピン(凸)を後方にし、シ
ングル分岐のピン(凸)と水栓本体のピン
穴(凹)が合うようにはめ込む。

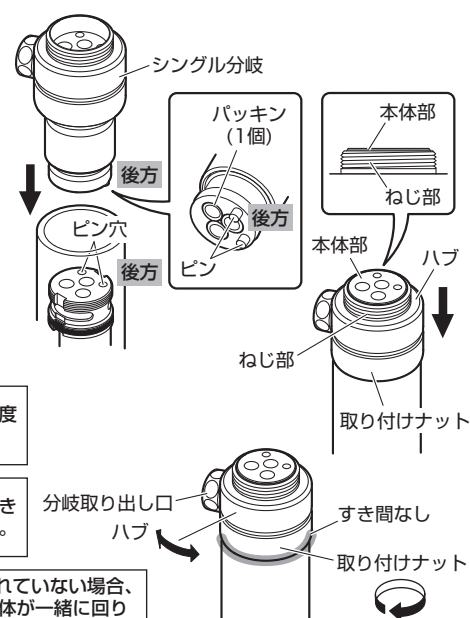
シングル分岐下部のパッキンが
付いていることを確認してく
ださい。(1個)

④シングル分岐のピン(凸)と水栓本体のピン
穴(凹)をはめ込み、本体部がねじ部上
端の当たりまで出てくるように、ハブ部
を押し込む。⑤取り付けナットを3~5回回転締め込んだ
後、分岐取り出し口の方向(左・右)をハ
ブを回して決め、取り付けナットを手で
締まるまで締め込む。

本体部がねじ部から少し見える程度
まで締め込んでください。

取り付けナットと水栓との間にすき
間がないことを確認してください。

ピン(凸)がピン穴(凹)にはめ込まれていない場合、
ハブを回した時にシングル分岐本体が一緒に回り
ます。再度、手順手順5-②から行ってください。

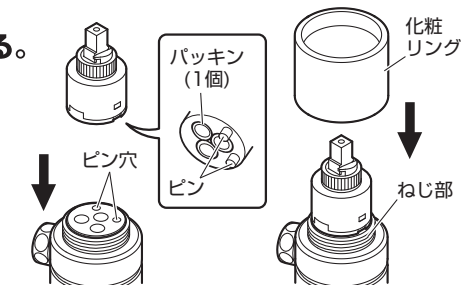


6. カートリッジを取り付ける。

①カートリッジの外周を手で持ち、カート
リッジのピン(凸)とシングル分岐のピン
穴(凹)とが合うように、はめ込む。

カートリッジ下部のパッキンが
付いていることを確認してく
ださい。(1個)

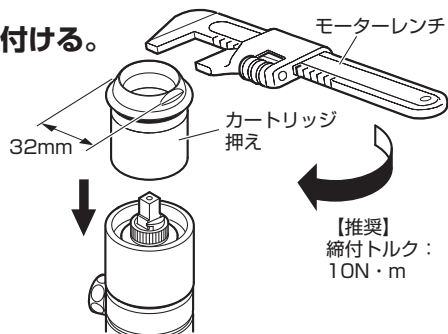
②化粧リングを取り付ける。



7. カートリッジ押えを取り付ける。

シングル分岐のネジ部にカートリッジ押え
を時計方向にまわしてねじ込み、モーター
レンチ等で締め付ける。

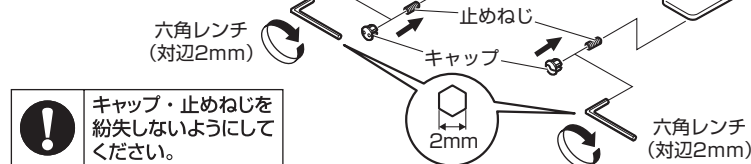
●施工完了後、下記の2箇所に
2mm~5mmのすきまがで
きますが問題ありません。

①カートリッジ押えとハブの間
②ハブと取り付けナットの間

8. レバーを取り付ける。

①六角レンチで止めねじを取り付ける。

②キャップを手ではめ込む。

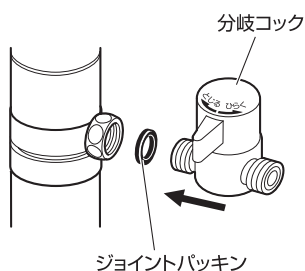


取り付けの際は、キャップの色が
右(青)、左(赤)になっているか
確認してください。



9. 分岐接続を行う。

分岐コックをシングル分岐に取り付ける。



○リング(黄色)側のネジが分岐水栓 側と接続されているか確認してく ださい。	接続機器側 (出水)
分岐コックの取付位置によって、 吐水パイプの回転範囲が狭くなる 場合があります。	分岐水栓側 (入水)
分岐コックの開閉操作(ひらく・とじる) をして締め付けた部分がゆるまな いか確認してください。	○リング(黄色)
取り付け作業終了後、水栓本体及び 分岐各部からの水漏れがないか、特 に注意して確認してください。	

施工に関する安全上のご注意

- 施工する前に、この「施工に関する安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
- ここに示した **△注意** は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動するかを確認の上、使用方法をお客様に説明してください。
- この説明書は、お客様へ保管していただくように依頼してください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 **してはいけない禁止の表示です**

 **行為を強制する表示です**

 **分解してはいけない表示です**

△注意

	●凍結の恐れのある所への設置はお避けください。 ※水漏れの恐れがあります。		●施工前後に止水栓またはバルブの開放状態のまま分岐水栓・水栓金具等の分解・取り外すような行為は行わないでください。 ※傷害・物損・故障・水漏れ等の恐れがあります。		●分岐水栓および同梱されている分岐コックは絶対に分解しないでください。 ※故障・破損の恐れがあります。
	●止水栓またはバルブの開放は必ず分岐コックに給水ホースを接続した後、行ってください。		●水栓金具のカートリッジは落としたり、分解しないでください。 ※水漏れ・取り付けができなくなる恐れがあります。		●水栓本体のカバーナット、カートリッジ押さえを取り外し、取り付けを行う時には必ず水栓本体が回っていたり、配管がねじれていない事を確認してください。 ※破損・水漏れの恐れがあります。
	●分岐水栓を取り付ける場合、必ず専用の工具等を使って取り付けてください。 ※専用の工具以外で、取り付けされると傷をつける場合があります。		●分岐水栓取り付け完了後、水栓本体と分岐水栓との間から水漏れが無いかよく確認して下さい、		●分岐水栓の改造・仕様変更は行わないでください。 ※分岐水栓・食器洗い機等の故障につながる恐れがあります。

給水仕様から給湯仕様への変換方法

※出荷時は水がでるようになっています。お湯をご使用になる場合は以下の手順で行ってください。（水をご使用になる場合はそのままお使いください）

	分岐水栓パーツ分解（変換）時、内面及び表面又はパッキン等にキズをつけないでください。※水漏れの恐れがあります。
	給湯仕様へ変換すると、使用時は本体が熱くなる場合があります。

手順1：シングル分岐の外周（ハブ・取り付けナット）を手で持ち、シングル分岐の本体部を上からゆっくりと押し出す。（注意1）（注意2）

手順2：2-1：同梱してある押し棒を上から差し込み、湯側の穴（ピン穴を後方にした場合に左側にある穴）のプラグを押し出す。（注意3）

2-2：抜き取ったプラグを水側の穴（ピン穴を後方にした場合に右側にある穴）に差し込む。（注意4）

手順3：シングル分岐の外周（ハブ・取り付けナット）を手で持ち、シングル分岐の本体部を下からゆっくりと挿入する。（注意1）（注意2）

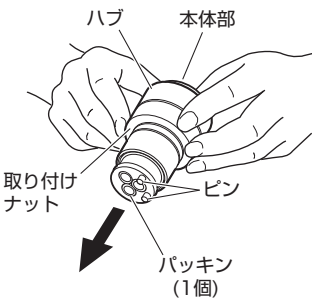
（注意1：変換時にシングル分岐本体を上下に動かす場合、ゆっくりと動かしてください。シングル分岐本体に取付いているパッキンが損傷し、水漏れする恐れがあります。）

（注意2：シングル分岐下部のパッキンが付いていることを確認してください。（1個）

（注意3：押し出す際、プラグが飛び出ることがあります。プラグを紛失しないようにしてください。）

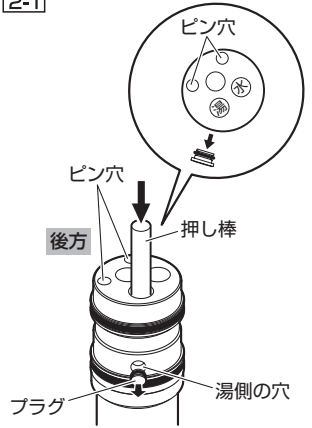
（注意4：差し込む方向を間違えないようにしてください。）

手順 1

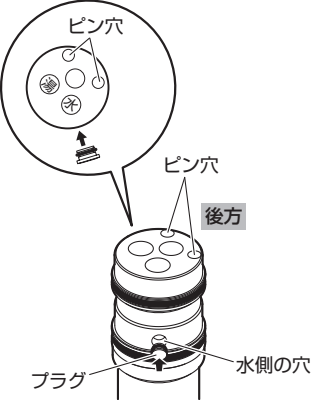


手順 2

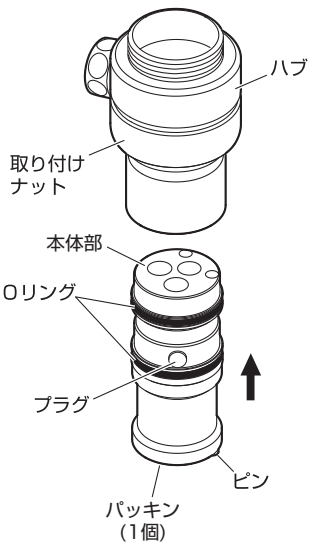
2-1



2-2



手順 3



	各パッキン、オーリング類は取り外さないでください。（紛失すると施工ができなくなる恐れがあります。）		浄水器・整水器等をご使用になる場合は、必ず給水接続でご使用ください。 ※機器が故障する場合があります。
	手などにケガをする恐れがあります。十分注意して取り付け、部品の組み替え作業を行ってください。		食洗機の耐熱温度以上に設定された給湯機をご使用の場合は、必ず給水接続でご使用ください。 ※食器洗い乾燥機の故障の原因となります。